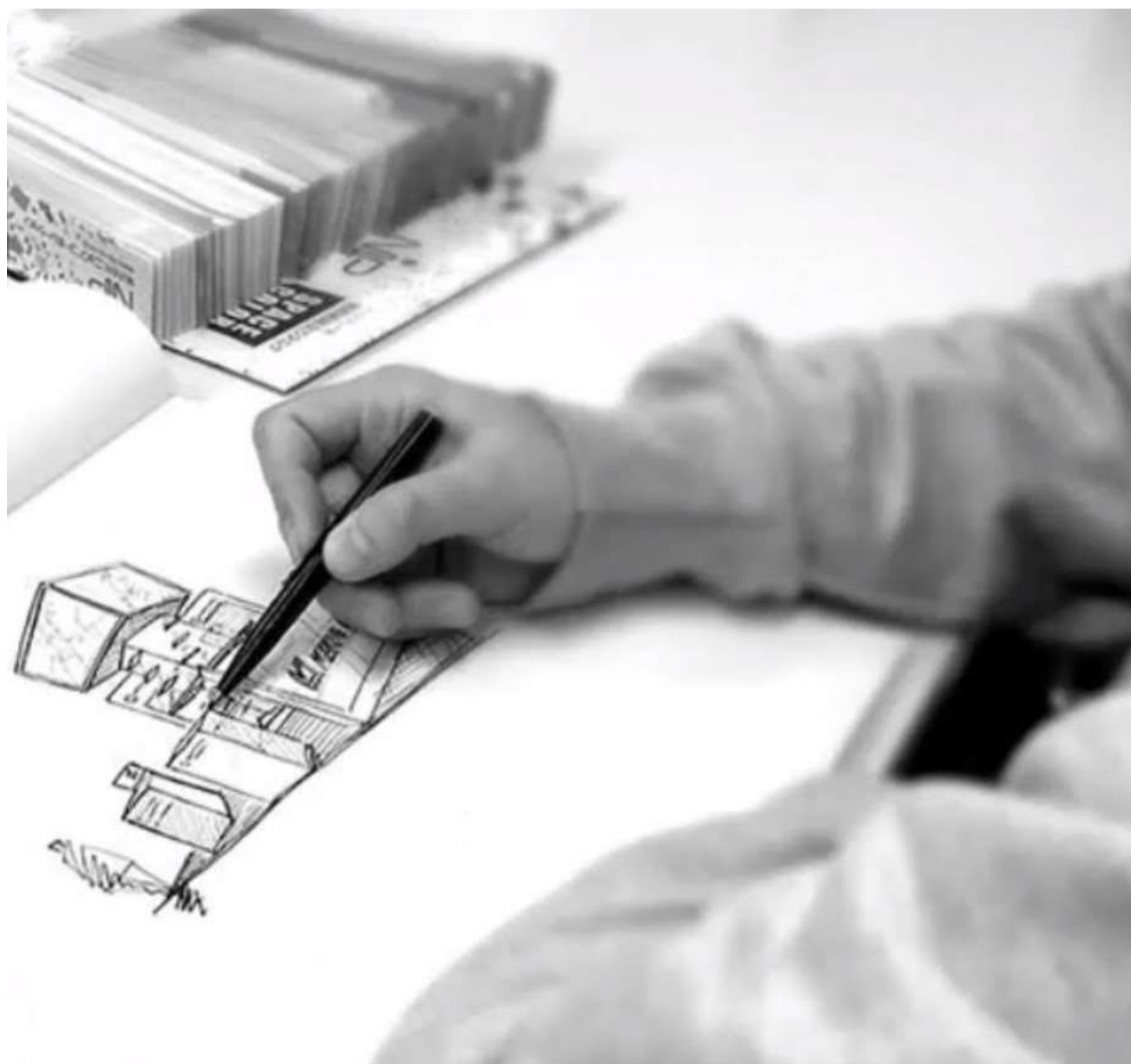


エコアクション21
環境経営レポート2024年版
(対象期間：2024年1月～2024年12月)

株式会社スリービー

発行日：2025年3月21日



会社概要・環境活動範囲・環境経営方針	1
環境経営方針	2
実施体制(組織図)・役割と権限	3
当社の環境負荷2024年度 環境経営目標	4
2024年度 環境経営目標	4
2024年度 環境経営計画及び取り組み	5
環境活動報告、今後の取組みー1.電気使用量の削減	6
環境活動報告、今後の取組みー2.水道使用量の削減	7
環境活動報告、今後の取組みー3.事務所内廃棄物量の削減	8
環境活動報告、今後の取組みー4.事務所内コピー量の削減	9
環境活動報告、今後の取組みー5.環境配慮商品の購入割合	10
環境活動報告、今後の取組みー6.木材の再利用	11
環境活動報告、今後の取組みー7.リサイクルカーペット・レンタルカーペットの再利用	11
環境活動報告、今後の取組みー7.木材・カーペットの利用箇所	12
次年度の取組	13
中期目標(2024年～2026年中期環境経営目標)	14
事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策	15
環境関連法規への違反、起訴等の有無	16
外部からの苦情などの受付状況及び対応結果	16
問題点の是正処置及び予防処置の結果	17
代表者による全体評価と見直しの結果	17

会社概要

- 事業者名 株式会社スリービー
- 代表者 代表取締役 三橋 和也
- 設立年月 2007年1月4日
- 所在地 〒113-0033 東京都文京区本郷3-6-9エルデ本郷館5F
- 事業内容 展示会・イベント・ショールーム等の企画・デザイン・運営
- 環境管理責任者 専務取締役 三橋 純一
- 担当者 沢田 知香
- 連絡先 TEL : 03-5805-1055 / FAX : 03-5805-1058
- 従業員数 10名
- 年間受注件数 281件 ※受注額¥100,000以上
- オフィス面積 90㎡

環境活動範囲

当社は全組織・全活動を対象としています

株式会社スリービーは展示会・ショールーム・企画・ブース設計・運営の活動を通じて3Rによる廃棄物の削減を提案する等、地球環境の継続的改善に取り組みます。

1. 環境保全と負荷削減のために次の事を行います。

- ① 二酸化炭素排出量の削減の為、電気使用量の削減に努めます。
- ② 節水を行い、水道使用量の削減と水質汚濁防止に努めます。
- ③ 紙のムダ使用撲滅、分別及びリサイクルを推進し廃棄物の削減に努めます。
- ④ オフィス用品は、グリーン購入ガイドラインに配慮した購入を推進します。
- ⑤ 各種展示会・ショールームでは再使用部材の利用を提案し環境活動を推進します。

2. 当社に関連する環境法規等を遵守します。

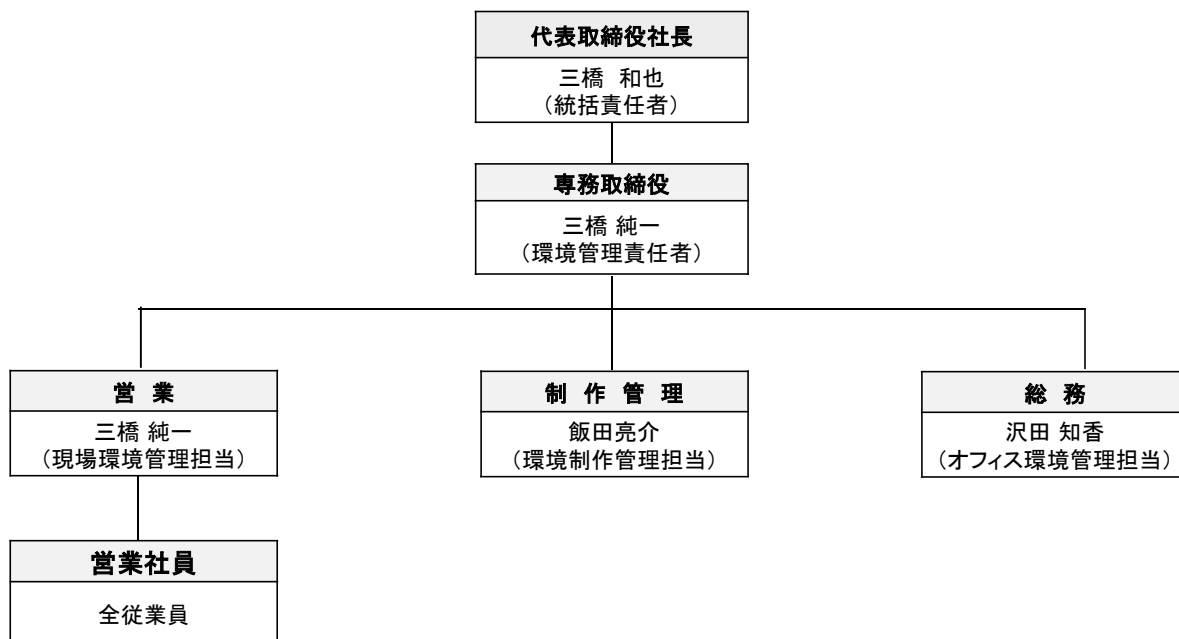
3. 全社員に環境経営方針を周知し、環境意識の向上及び環境活動を推進します。

4. 社外に環境情報を発信し、環境コミュニケーションを推進します。

以上の項目について、継続的に改善することに努めます。

2025年3月1日改
株式会社スリービー
代表取締役 三橋 和也

実施体制（組織図）



役割と権限

統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> 経営における課題とチャンスの明確化 環境方針の策定 環境管理責任者の任命 システムの評価と見直し(環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画、実施体制)を行い必要な指示を環境管理責任者に行う。
環境管理責任者 (現場環境管理担当)	<ul style="list-style-type: none"> EA21環境管理システムの構築、運用の責任者 取り組みを評価する 取組状況の確認及び問題の是正及び予防 苦情処理に対応する 代表取締役へ運用状況等を報告する 問題点の是正及び予防処置の承認
制作 環境管理担当デザイナー	<ul style="list-style-type: none"> 環境を配慮したデザインを行う(現場廃棄物削減担当)
総務 事務所内 環境管理担当	<ul style="list-style-type: none"> 各種報告書を作成する。 環境活動に関する実績のとりまとめ 外部環境コミュニケーションに関する窓口 事務所での社員行動の喚起担当(事務所内電気・水・事務所廃棄物・コピー量削減担当) 環境経営レポートの作成
営業担当 (全従業員)	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動の重要性を自覚し、環境方針、環境目標、環境活動計画などに基づいて自主的、積極的に環境改善に取り組む

当社の環境負荷

当社は展示会・ショールームの企画・設計及び運営を行っております。

事務所での主な環境負荷は電気使用量で、車両は所有していません。

展示会・ショールームでは、多くの部材は使い捨てで、資源の無駄が多いのが当社の抱える最大の環境負荷です。

そこで、顧客に対し、企画・設計の段階から出来るだけ再使用部材を使用することを提案し、資源の節約に努めることを環境目標に掲げました。

環境経営目標

■ 2024年度 環境経営目標

取り組み項目		2023年実績	2024年目標	2024年実績
二酸化炭素の排出量(CO2)の削減	事務所内電気使用量の削減(kwh)	8,723.9	基準値を設定し ▲1%の毎年削減を目指す 目標値:8,636.7	8,794.7
	二酸化炭素排出量(kg-CO2)※1	3934.5	基準値を設定し ▲1%の毎年削減を目指す 目標値:3,895.1	4,092.5
水使用量の削減	水使用量の削減(m3)	48.898	前年度維持	58.172
廃棄物排出量の削減	事務所内廃棄物量の削減(L)	4,140	基準値を設定し ▲1%の毎年削減を目指す 目標値:4,098	4,365
	事務所内コピー量の削減(枚)※2	33,535	基準値を設定し ▲1%の毎年削減を目指す 目標値:33,199	34,825
エコ活動の推進	グリーン商品購入の推進	52/301	商品購入時にはグリーン購入に配慮する	40/237
	木材の再利用物件率/該当物件(件数)※3	85/105	木材再利用率20%以上 達成物件再生利用率65%とする	112/126
	再利用カーペット利用物件率(%)/該当物件※3	28	目標値設定なし 推奨・記録のみ	34

※1 東京電力エナジーパートナーの排出係数0.451kg-CO2/kWhを使用(2021年データ) 2022年8月5日

※2 コピー紙使用の削減はA4用紙のみ対象

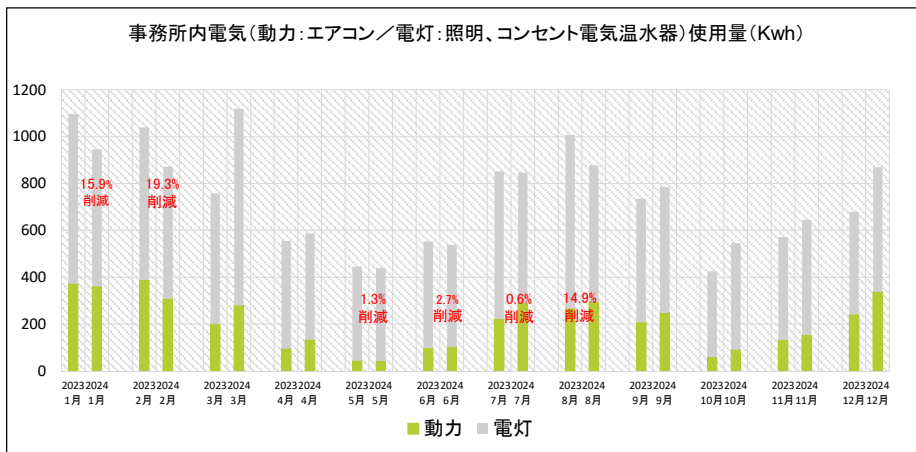
※3 該当物件は100万以上が対象

■ 2024年度 数値目標達成のための計画、取組

目標達成のための取組	
事務所内の電気使用量は基準値を設定し▲1%の毎年削減を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ① 未使用時の電気消灯の徹底 ② 冷暖房の設定温度・使用時間の管理 ③ サーキュレーターを有効に活用していく ④ 使用していないOA機器電源オフ又は省電力モードにする
水道使用量は前年度維持	<ul style="list-style-type: none"> ① 水漏れ確認 ② 元栓の調節
廃棄物量は基準値を設定し▲1%の毎年削減を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ① 詰め替え製品の使用 ② 再利用製品の使用 ③ ゴミの分別 ④ 資源のリサイクル
事務所内のコピー量は基準値を設定し▲1%の毎年削減を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ① コピー使用量の把握 ② 印刷プレビューの実施
環境配慮商品(グリーン商品)の購入配慮する。	環境配慮商品の購入
現場木材再利用率20%以上 達成物件率65%	<p>木工材料の再利用</p> <p>当社が企画するブースで、使用する木材のうち再利用木材が20%を超えるブースの率で管理します。</p>
現場カーペットの再利用	<p>リサイクルカーペット・レンタルカーペットの利用</p> <p>当社が企画するブースでは、お客様のご意向として新品のカーペット使用希望が多いので数値目標には至りませんが、リサイクルカーペット・レンタルカーペットを推奨しています。</p>
その他の取組	<p>エコ検定受験の推奨</p> <p>個人の意識向上の為、未受験の社員を対象にエコ検定受験を決定。 全社員合格を目指す。</p>

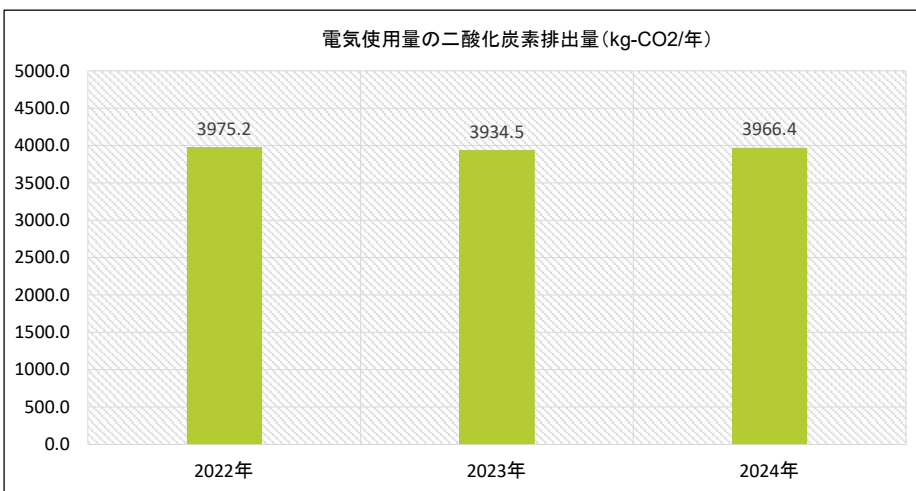
環境活動報告ならびに今後の取り組み

1.電気使用量の削減 【今期目標】基準値を設定し▲1%の毎年削減を目指す



(Kwh)	2023 動力	2023 電灯	2023年 合計	2024 目標	2024 動力	2024 電灯	2024年 合計	削減率 (%)	目標比率 (%)
1月	371.7	725.0	1,096.7	1,085.7	361.3	585.0	946.3	-15.9%	87.2%
2月	388.6	652.0	1,040.6	1,030.2	308.4	564.2	872.6	-19.3%	84.7%
3月	199.6	558.2	757.8	750.2	279.5	560.8	840.3	9.8%	112.0%
4月	96.5	459.2	555.7	550.1	132.5	454.6	587.1	5.3%	106.7%
5月	44.2	401.6	445.8	441.3	42.3	397.6	439.9	-1.3%	99.7%
6月	98.3	455.0	553.3	547.8	102.8	435.8	538.6	-2.7%	98.3%
7月	222.0	629.6	851.6	843.1	289.2	557.0	846.2	-0.6%	100.4%
8月	266.5	741.4	1,007.9	997.8	295.0	582.5	877.5	-14.9%	87.9%
9月	208.5	527.5	736.0	728.6	248.2	536.5	784.7	6.2%	107.7%
10月	60.0	365.7	425.7	421.4	90.8	454.7	545.5	22.0%	129.4%
11月	132.2	440.2	572.4	566.7	153.0	493.3	646.3	11.4%	114.1%
12月	240.8	439.6	680.4	673.6	337.7	532.0	869.7	21.8%	129.1%
合計	2,328.9	6,395.0	8,723.9	8,636.7	2,640.7	6,154.0	8,794.7	1%	102%

※削減率のパーセントは前年比



電気使用量	合計(Kwh)
2023年実績	8,723.9
2024年目標	事務所内の電気使用量は基準値を設定し▲1%の毎年削減を目指す 8,636.7
2024年実績	8,794.7
目標対比	102%
削減率(前年比較)	1%増加
評価	×

※東京電力エナジーパートナーの排出係数0.451kg-CO2/kWhを使用(2021年データ) 2022年8月5日

※動力・・・エアコン、電灯・・・照明、コンセント電気温水器

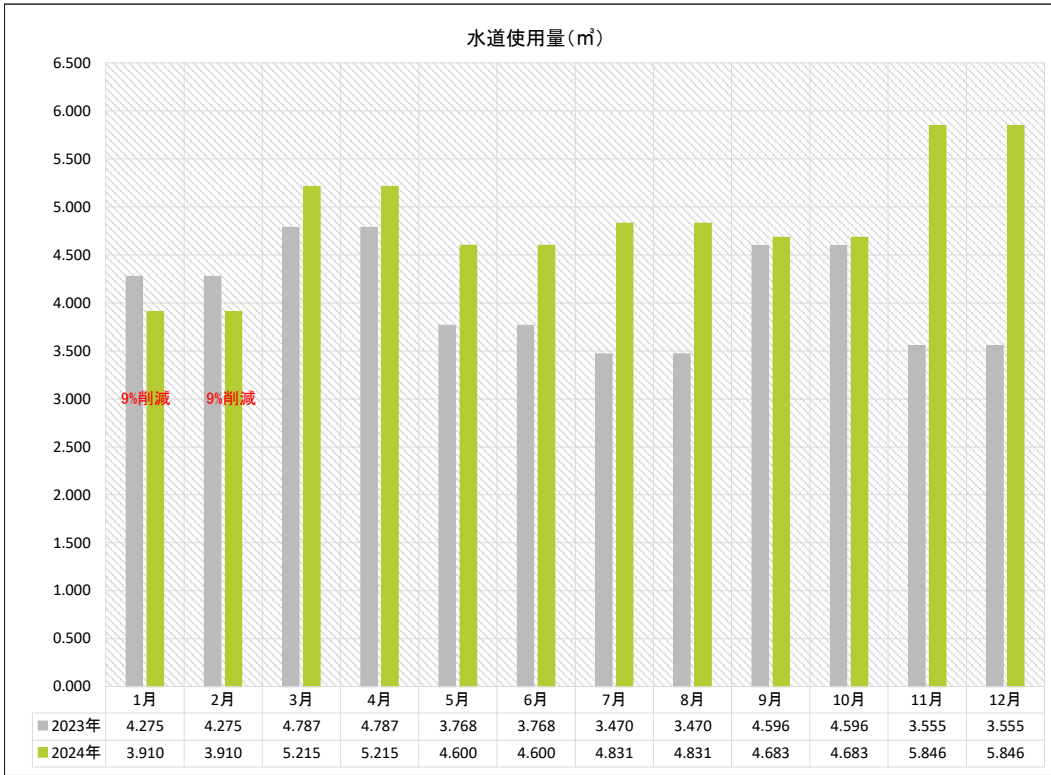
取り組み項目	結果
未使用時の電気消灯の徹底	出来る範囲で消灯に取り組んでいた。
冷暖房の設定温度・使用時間の管理 (室内の温度を夏期28℃ 冬期20℃)	業務に支障がない範囲且つ、体調等に応じて柔軟に対応し管理できていた。
サーキュレーターを有効に活用していく	扇風機の使用(サーキュレーター)を使い気流をつくりエアコンの風をオフィス内に循環させるように取り組んでいた。 エアコンを稼働させているとどうしても換気がしづらくなってはくるが、空気を循環させることで不快指数を下げる有効な手段だと思っているので引き続き継続していく。
使用していないOA機器電源オフ又は省電力モードにする	無人のスペースや帰宅時の電源を消すなど心掛けていた。

【総評と評価】

2024年の電気使用量、二酸化炭素排出量ともに、前年比1%削減という目標に対して達成されず、実際には前年よりも増加している。この結果から、電気使用量の削減に向けた対策の強化が必要。具体的な対策としては、節電意識の向上、省エネ機器の導入、使用状況の定期的な見直しの必要が有り。来期は削減が出来るようにしましょう。

環境活動報告ならびに今後の取り組み

2.水道使用量の削減【今期目標】水道使用量は前年度維持



※削減率のパーセントは前年比

使用量 (m³)	2023年度	2024年度	前年比 (%)
1月	4,275	3,910	91%
2月	4,275	3,910	91%
3月	4,787	5,215	109%
4月	4,787	5,215	109%
5月	3,768	4,600	122%
6月	3,768	4,600	122%
7月	3,470	4,831	139%
8月	3,470	4,831	139%
9月	4,596	4,683	102%
10月	4,596	4,683	102%
11月	3,555	5,846	164%
12月	3,555	5,846	164%
合計	48,898	58,172	119%

取り組み項目	結果
水漏れ確認	水漏れはなし。 各自水の出しっぱなしをしないよう節水を心がけていた。
元栓の調節	前回の調節後今回は現状のままにしております。

水道使用量	合計 (m³)
2023年度実績	48,898
2024年度目標	前年度維持
2024年度実績	58,172
前年比	119%
評価	△

■ 節水ステッカーの掲示

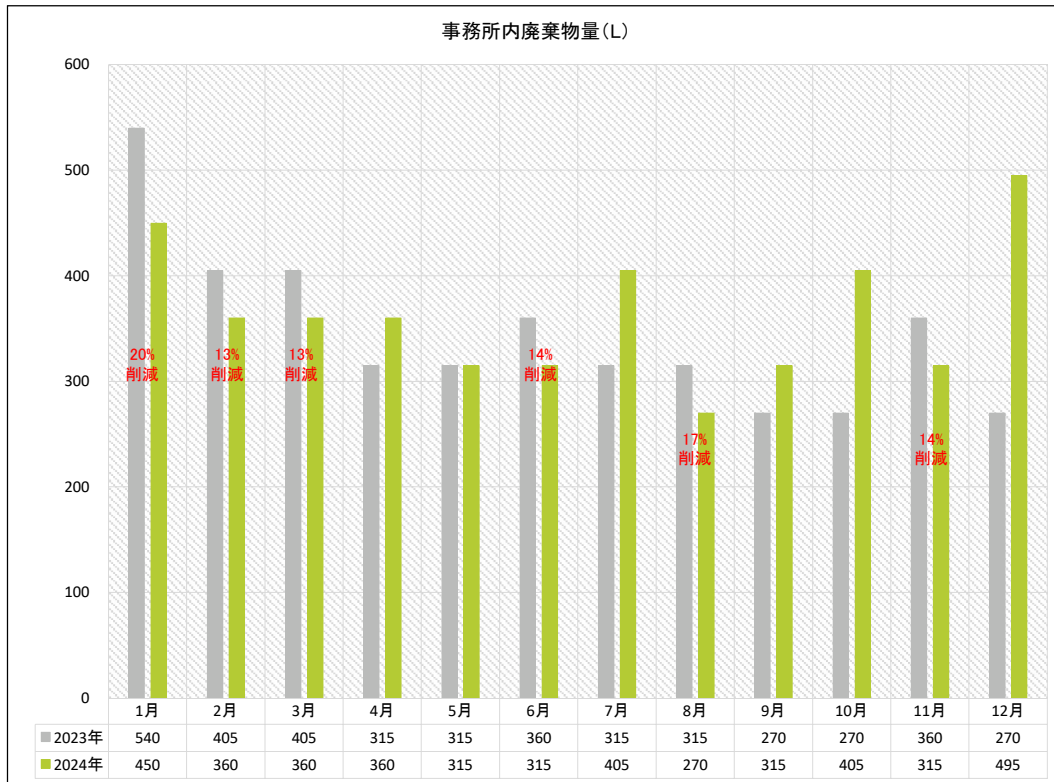


【総評と評価】

2023年の年間使用量が48,898m³だったのに対し、2024年は58,172m³となっており、前年比119%の大幅な増加となっている。社員人数増加の要因とも考えられる為、削減をしていないわけではないが、トイレの「大・小」の使い分けなど、その他、節水可能な事から節水に努めましょう。

環境活動報告ならびに今後の取り組み

3.事務所内廃棄物量の削減【今期目標】廃棄物量は基準値を設定し▲1%の毎年削減を目指す



使用量(L)	2023年度	2024年度目標	2024年度実績	削減率(%)	目標比率(%)
1月	540	535	450	-20%	84%
2月	405	401	360	-13%	90%
3月	405	401	360	-13%	90%
4月	315	312	360	13%	115%
5月	315	312	315	0%	101%
6月	360	356	315	-14%	88%
7月	315	312	405	22%	130%
8月	315	312	270	-17%	87%
9月	270	267	315	14%	118%
10月	270	267	405	33%	152%
11月	360	356	315	-14%	88%
12月	270	267	495	45%	185%
合計	4,140	4,098	4,365	5%	105%

※削減率のパーセントは前年比

取り組み項目	結果
詰替え製品の使用	詰め替え製品購入は徹底されている。備品はグリーン商品を選ぶよう掛けた。
再利用製品の使用	昼食時コンビニのレジ袋はなるべく使用しないようにします。ビニール袋は捨てず再利用を心がけていた。
ゴミの分別	社員の意識も向上し現状分別ほぼ行われている。
資源のリサイクル	分別を行うようにした為、ビン・缶等リサイクルも行った。ペットボトルのキャップは社会貢献活動として捨てずに集めている。分別リサイクル出来るようしている

廃棄物量	合計(L)
2023年度実績	4,140
2024年度目標	事務所内の電気使用量は基準値を設定し▲1%の毎年削減を目指す 4,098
2024年度実績	4,365
目標対比	105%
削減率(前年比較)	7%増加
評価	×

■ エコキャップ推進活動



朝日信用金庫さんで取り組まれているペットボトルのキャップ推進活動に参画し捨てずに社内内で集めている。

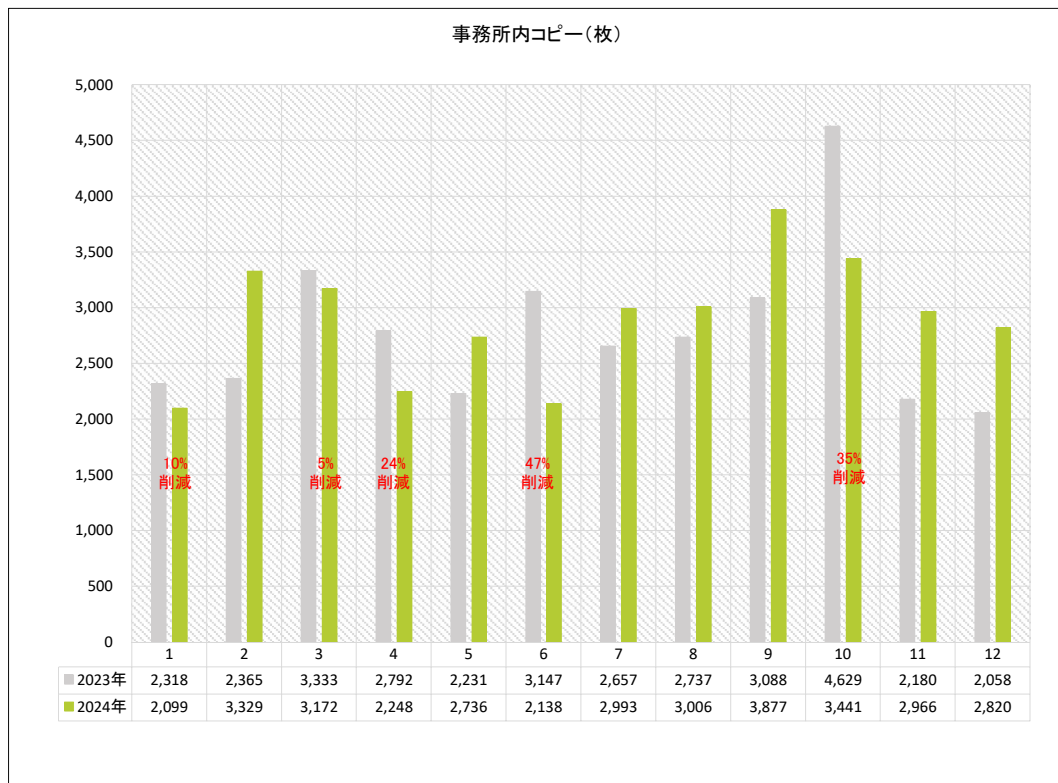
ゴミとなるペットボトルキャップを収集し、そのリサイクルによる収益金で開発途上国の子どもたちへワクチンを届けようという「エコキャップ推進活動」

【総評と評価】

下半期に大幅に増加している。12月の増加は年末のゴミの影響と考えられる(過去の紙資料のデータ化を進めているため、紙類の排出量がなかなか減らない)結果、年間を通りして増えてしまっている。紙ゴミ・雑誌は分別することにより可燃ゴミを減らし、再資源化する意識を各自もつことが重要。

環境活動報告ならびに今後の取り組み

4.事務所内コピー量の削減【今期目標】事務所内コピー量は基準値を設定し▲1%の毎年削減を目指す



使用(枚)	2023年度	2024年度	2024年度	削減率(%)	目標比率(%)
1月	2,318	2,295	2,099	-10%	91%
2月	2,365	2,341	3,329	29%	141%
3月	3,333	3,300	3,172	-5%	95%
4月	2,792	2,764	2,248	-24%	81%
5月	2,231	2,209	2,736	18%	123%
6月	3,147	3,116	2,138	-47%	68%
7月	2,657	2,630	2,993	11%	113%
8月	2,737	2,710	3,006	9%	110%
9月	3,088	3,057	3,877	20%	126%
10月	4,629	4,583	3,441	-35%	74%
11月	2,180	2,158	2,966	27%	136%
12月	2,058	2,037	2,820	27%	137%
合計	33,535	33,199	34,825	4%	104%

※削減率のパーセントは前年比

取り組み項目	結果
コピー使用量の把握	コピー機レンタル会社から来る請求書で確認していた。
印刷プレビューの実施	各自意識して行うようにしていた。
書類の保管	パソコン内に残していくデータに関しては印刷保管(ファイリング)はしないよう変更をした。スキャナーを有効活用し、データでやり取りをして印刷せず保管に繋げていた。

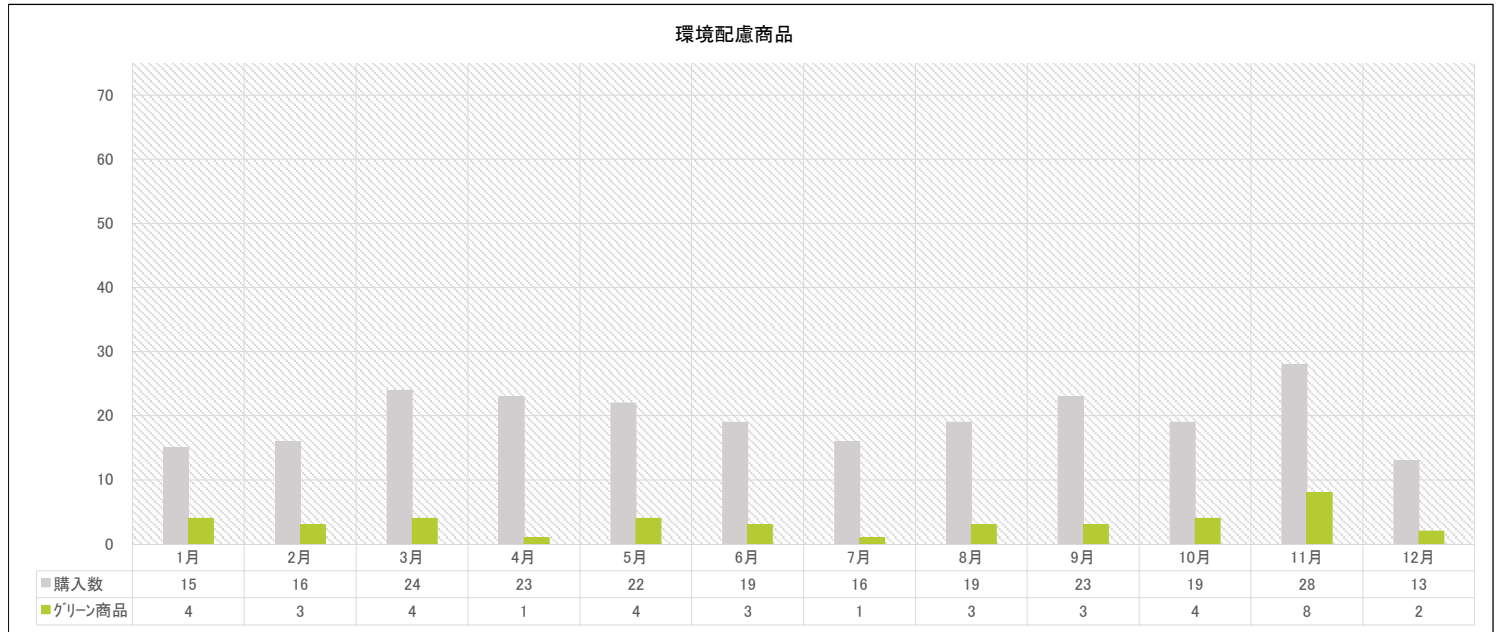
事務所内コピー量	合計(枚)
2023年度実績	33,535
2024年度目標	事務所内のコピー量は基準値を設定し▲1%の毎年削減を目指す 33,199
2024年度実績	34,825
目標対比	104%
削減率(前年比較)	4%増加
評価	×

【総評と評価】

下半期が増加傾向にある。1年を通して削減が出来るようにする。引き続きZoomなどのオンライン会議システム、Webカメラ等を積極的に利用し、ペーパーレス化に努めたい。

環境活動報告ならびに今後の取り組み

5.環境配慮商品の購入割合 【今期目標】商品購入時にはグリーン購入に配慮する



取り組み項目	結果
環境配慮商品の購入	購入希望備品の中に環境配慮商品があれば、それを選ぶようにした。

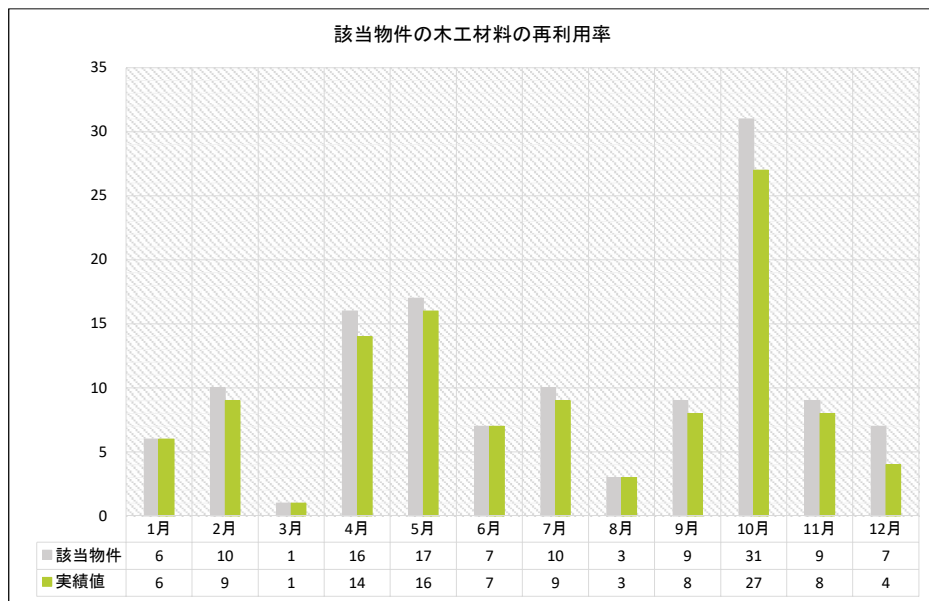
備品全体購入数(個)	237
環境配慮商品の購入(個)	40
環境配慮商品割合(%)	17%
評価	△

【総評と評価】

グリーン商品の購入数の割合は前年度に比べると購入率が上がっている。引き続き、グリーンマーク商品を意識する。

環境活動報告ならびに今後の取り組み

6.木材の再利用 【今期目標】木材再利用率20%以上 達成物件再利用率65%を目指す



達成物件再利用率目標値	65%
目標達成率	125%
2023該当物件(件)	106※1
2023実績値(件)	85※2
2023年達成物件 再利用率	81%
2024該当物件(件)	126※1
2024実績値(件)	112※2
2024年達成物件 再利用率	89%

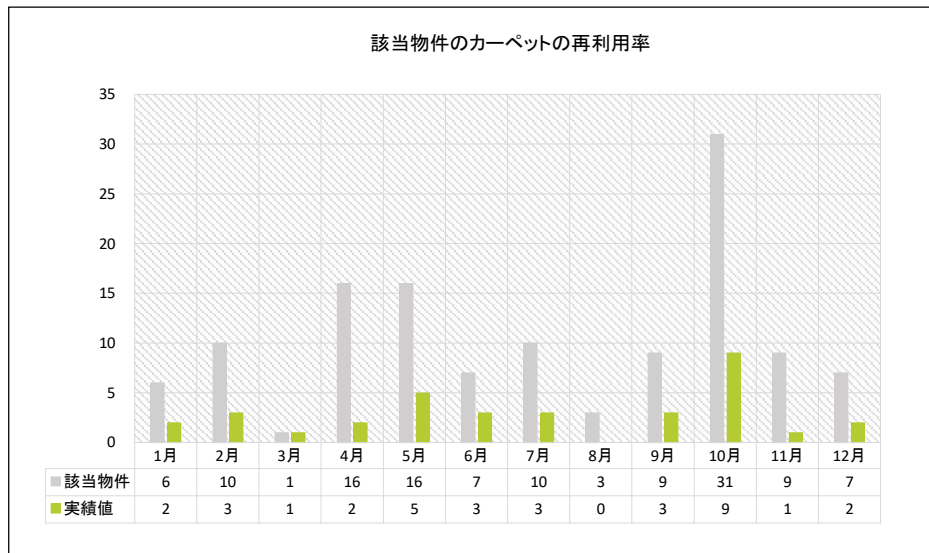
※1 100万円以上の物件が対象
※2 再利用率20%以上の物件に限る

取り組み項目	結果
木工材料の再利用	年間通してみれば目標は達成できているが目標に至らなかった月もあるので、今後もリユース率向上を目指す。

【総評と評価】

昨年に比べ、再利用率の実績値が上がリクライアントに良い提案がよくできている。引き続き提案をしていく。

7-1.リサイクルカーペット・レンタルカーペットの利用 【今期目標】目標設定なし(推奨・記録のみ)



該当物件(件)	125
実績値	34
再利用率	27%

※再利用率101%以上の物件に限る

取り組み項目	結果
リサイクルカーペット・レンタルカーペットの利用	リサイクルカーペット、レンタルカーペットの使用を出来る範囲で提案した。

【総評と評価】

お客様の業種や方針を踏まえ、リサイクル・レンタルカーペットを提案していきましょう。

環境活動報告ならびに今後の取り組み

7-2.木材・リサイクルカーペット・レンタルカーペットの利用箇所

■ 再利用木材・リサイクルカーペット使用ブース



再利用木工

機能面、意匠面、共に損傷なければ、何度でも利用可能。

リサイクルカーペット

— 廃棄物低減ブース3BR STYLE —

スリーピーとして環境に配慮しコストも低減出来るブースの提案

たくさんの人を集め、華々しく開催される展示会やショー。しかしそれも終わってしまえば、膨大なゴミの山と化してしまいます。イベント業界に携わる者として、私達スリーピーはこの問題をなんとかできないかとずっと考えてきました。

そしてお客様に提案しているのが廃棄物低減ブースです。工場での加工、電力の消費を抑える照明器具、デザイン性を活かした効果的な部材の再利用、etc...

さまざまな角度から知恵を絞り、廃棄物の削減がそのままお客様のコスト削減も可能にしました。環境問題に貢献しながらコストメリットもあるこのブースを率先し提案。



8. その他の取り組み

■ エコ検定受験の推奨

個人の意識向上の為、エコ検定未取得者の受験を推奨。

次年度の取組と中期目標

■ 次年度の取組

取り組み項目	2025年取組	
二酸化炭素の排出量 (CO2)の削減	<p>■基準値を設定し毎年▲1%の毎年逡減を目指す。</p> <p>■エアコンの温度管理等は、気温及び体調等に応じて柔軟に対応していく</p>	<p>① 未使用時の電気消灯の徹底</p> <p>② 冷暖房の設定温度・使用時間の管理</p> <p>③ サーキュレーターを有効に活用していく</p> <p>④ 使用していないOA機器電源オフ又は省電力モードにする</p> <p>⑤ 気温・湿度の計測（無駄な電力使用の抑制に努める）</p> <p>⑥ 帰宅時に、未使用スペースの照明、空調OFF</p> <p>⑦ トイレの温水洗浄便座の温度設定見直し又は電源OFF</p> <p>⑧ 節電の啓発活動の実施</p>
水使用量の削減	<p>■前年度維持</p>	<p>① 水の出し過ぎ、出しっぱなし等、無駄な使用を控え</p> <p>② 水漏れ確認</p> <p>② 元栓の調節</p>
廃棄物排出量の削減	<p>■事務所内の廃棄物量は基準値を設定し毎年▲1%の毎年逡減を目指す</p>	<p>① 詰め替え製品の使用</p> <p>② 再利用製品の使用</p> <p>③ ゴミの分別</p> <p>④ 資源のリサイクル</p> <p>⑤ エコバッグの利用（弁当購入のレジ袋等、省資源に努める）</p> <p>⑥ ハンカチの持参、ペーパータオルの使用枚数を減らす</p>
	<p>■事務所内のコピー用紙使用量は基準値を設定し毎年▲1%の毎年逡減を目指す</p>	<p>① コピー使用量の把握</p> <p>② 印刷プレビューの実施</p> <p>③ 両面コピーの徹底</p> <p>④ 集約印刷の利用</p> <p>⑤ 紙で印刷せずPDF化による確認をする</p>
エコ活動の推進	<p>■環境配慮商品（グリーン商品）の購入</p>	<p>① 環境配慮商品の購入</p> <p>② リサイクル品を積極的に購入する</p>
	<p>■現場木材の再利用</p>	<p>木工材料の再利用</p> <p>当社が企画するブースで、使用する木材のうち再利用木材が20%を超えるブースの率で管理します。</p>
	<p>■ 現場カーペットの再利用</p>	<p>リサイクルカーペット・レンタルカーペットの利用</p> <p>当社が企画するブースでは、お客様のご意向として新品のカーペット使用希望が多いので数値目標には至りませんがリサイクルカーペット・レンタルカーペットを推奨してます。</p>
その他の取組	<p>■ エコ検定受験の推奨</p>	<p>引き続き全社員合格を目指す。</p>

次年度の取組と中期目標

■ 2024年～2026年中期環境経営目標

取り組み項目		2023年 基準値	2024年目標	2025年目標	2026年目標
二酸化炭素の排出量(CO2) の削減	事務所内電気使用量の削減(kwh)	8723.9 kwh	8,636.6kwh	8,550.2kwh	8,464.6kwh
	二酸化炭素排出量(kg-CO2)※1	3,934.48kg-CO2	3,895.13kg-CO2	3,856.17g-CO2	3,817.60kg-CO2
水使用量の削減	水使用量の削減(m3)	48.898m3	48.40m3	47.91m3	47.43m3
廃棄物排出量の削減	事務所内廃棄物量の削減(L)	4,140L	4,098L	4,057L	4,016L
	事務所内コピー量の削減(枚)※2	33,535枚	33,199枚	32,867枚	32,538枚
エコ活動の推進	グリーン商品購入の推進	商品購入時にはグリーン購入に配慮する			
	木材の再利用物件率/該当物件(件数)	木材再利用率20%以上 / 達成物件率65%とする			
	再利用カーペット利用物件率(%)/該当物件	目標値設定なし/推奨・記録のみ			

※二酸化炭素排出量、廃棄物量は基準値から毎年▲1%の毎年遞減を目指す

※CO2排出量を求める際に使用する排出係数は、令和3年度(2021年度)東京電力エナジーパートナーの調整後排出係数(0.451)を採用

※今期より、中期環境経営目標の基準値を2023年度に変更・策定

※再利用カーペット利用の提案を意識し取組んできたが、クライアントの意向があるため、目標設定はしないが、再利用カーペット利用の推奨は続けていき、記録も引き続き取っていく。

事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策

■ 事故および緊急事態の想定結果

燃料や化学物質の大量の保管はしておらず、環境上の緊急事態の可能性がないと判断される事から、火災、地震等の対応を緊急事態と想定します。いずれの場合も社員・現場作業員及び近隣の安全を第一に行動できるよう心掛ける。

■ 緊急事態準備・対応手順

火災、地震等の対応策を次のとおりとします。

想定される緊急事態	原因	対応策
地震・台風・異常気象による災害	<ul style="list-style-type: none"> ● 地震による破損 ● 台風による破損 	<ul style="list-style-type: none"> ● 常に最新の情報収集に努める ● 避難場所・避難経路への誘導
火災	<ul style="list-style-type: none"> ● タバコ火災 ● 電気機器からの火災 	<ul style="list-style-type: none"> ● 消防署への連絡 ● 初期消火活動 ● 避難指示
作業現場における事故	<ul style="list-style-type: none"> ● 転落による事故 ● 飛来・落下 ● 不注意、注意不足配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ● 消防署への連絡 ● 初期消火活動 ● 避難指示

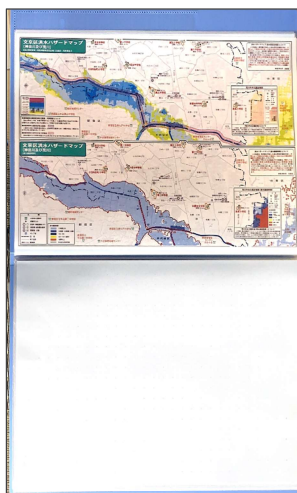
緊急事態訓練記録

オフィス内で火災が起きた場合に備え、総務省消防庁のサイトにある小規模ビル避難訓練マニュアル(火災訓練)を全体会議の場で社内共有しております。(テナントビルの為ビル全体での火災訓練は実施なし)(URL: <https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/post1367/#>)

■ 避難訓練マニュアル



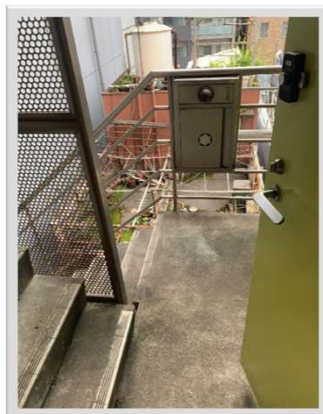
■ 社内の避難確認、共有



各自避難経路を改めて確認しました。実施日 2024.07.10 全体会議にて



■ 避難場所、防災地区の確認



環境関連法規への違反、起訴等の有無

■ 環境関連法規などの遵守状況の結果

法規	条項	規制項目	規制内容	今年度状況	確認日
資源の有効な利用の促進に関する法律 (資源有効利用促進法)	5条	特定再資源化商品の回収	パソコン廃棄時に引取業者への回収を委託	回収なし	2025.3.21
文京区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	36条	事業系一般廃棄物等の排出方法	事業系一般廃棄物等の排出時に容量に相当する有料ごみ処理券の添付	可燃ごみ 火曜日・金曜日 不燃ごみ 第2・第4 木曜日 資源 水曜日 該当の有料ごみ処理券を添付	2025.3.21
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	1条	廃棄物の適正な処理及び資源の有効な利用の確保	冷蔵庫廃棄時に引取業者への回収を委託	回収なし	2025.3.21

■ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律について

- 展示会ブース廃棄物は「建設廃棄物」に該当しない。
- 協力会社を「排出事業者」として当該廃棄物の適正処理(下記規制内容)を行っていることから当社に「排出事業者としての法的規制」はない。

■ 関連法規への違反、起訴等の有無

- 現在、環境関連法規への違反はありません。
- 過去3年間関係行政から違反等の指摘、訴訟等はありません。

外部からの苦情などの受付状況及び対応結果

2024年外部からの苦情等の受付はございません。

問題点の是正処置及び予防処置の結果

問題事項 特にございませぬ。(2025年3月21日時点)

代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による全体評価と見直しの結果

前回の指示事項		取組結果
1.環境経営目標の達成状況 2.環境経営計画の実施及び運用結果	事務所内の電気使用量は基準値を設定し▲1%の毎年削減を目指す	<p>《今年度》 減少と増加の月が半々とはなったが結果、冬季が際立って厳しい結果となりました。</p> <p>《今後》 25年度は、目標を達成出来るよう不要な電源を切るなど、こまめな徹底に努めましょう。</p>
	水道使用量は前年度維持	<p>《今年度》 維持することが出来ず増えている。人数が増えた影響も考えられるが、日常的に意識して努力して行く必要がある</p> <p>《今後》 引き続き節水に心がける</p>
	廃棄物量は基準値を設定し▲1%の毎年削減を目指す	<p>《今年度》 今期も、不要紙の裏紙を利用し、不要紙をシュレッターにかけ再資源化に努めたが、飲食その他で発生する廃プラ容器類が増加したことが要因になったようです。</p> <p>《今後》 25年度からは文京区のゴミ捨て方が変わるため、廃棄物の仕分け、再資源化を各自意識していく必要がある</p>
	事務所内のコピー量は基準値を設定し▲1%の毎年削減を目指す	<p>《今年度》 紙媒体での資料案内が多いため、コピー量の増加が避けられない状況です。業務上必要なため、今後はミスプリントの削減をはじめ、可能な範囲でコスト抑制に努める。</p> <p>《今後》 資料共有はデータで行うことや、ペーパーレス会議、オンラインでの情報提供を心がけ、必要なものを印刷する習慣にしていきたいと思います。</p>
	エコ活動の推進 (環境に配慮した商品の購入)	グリーン購入製品の購入は意識出来ているがコストの事も考え購入していく。
	展示会等での再使用部材の提案	目標達成がコスト削減に繋がっていると感じている。お客様の要望を踏まえ継続して行っていく。

項目	変更の必要性	代表者の指示内容
1. 環境方針の見直し	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	2024年1月15日に改定
2. 環境目標	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	2024年度より基準値を設定し▲1%の毎年削減を目指す
3. 環境活動計画	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	変更なし。
4. 実施体制	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	変更なし。

全体評価

2024年度の環境経営活動につきましては、4項目において年間目標が未達成となりましたが、月間で見ると目標を達成している月も多い。

繁忙期での残業は、電気使用量の増加に繋がっており、使用していないスペースの暖房、電気を消すなど心懸けていく必要がある。同様にデジタル化が進む中、初期投資は必要になるがペーパーレス会議など、検討しなければならない。

今後も、このEA21の活動を通じて、業務及び環境活動への取り組みを明確化・透明化することで企業価値の向上を図ります。そのためには、各事担当者が中心となって従業員の環境活動への参画意識を高め、各自の行動変容に繋がるような効果的な取り組みを計画・実行し、継続的改善に努めてまいります。